

令和元年度 第2回 内灘町男女共同参画推進委員会

- 【日 時】 令和2年2月28日（金）10:00～11:15
【場 所】 内灘町役場 1階 102会議室（和室）
【出席委員】 綿引委員・中村委員・井口委員・源代委員・庄田委員・水野委員（6名）
【事務局】 助田（室長）・船本

会 議 内 容

議 事

【第1号議案 広域連携事業及び、ふらっとミニセミナー実施報告について】

事務局) まず、石川中央広域圏男女共同参画推進協議会と金沢市共催のイベントについて。

令和元年11月17日（日）の13時から金沢市のル・バンケぶどうの木において、『リュウジのバズレシピ試食&トークイベント+ちょこっと家事シェアセミナー』を開催した。参加者は101名であった。

前半の1時間は、SNSで話題の料理研究家リュウジさんによる調理のデモンストレーションが行われた。

その後の家事シェアセミナーでは、普段の家事分担についてのチェックシートを記入し、見えない家事も含めて家族の負担に気付くことができる機会となった。

最後にトークの時間が設けられ、リュウジさんのツイッターの紹介などを通して固定的性別役割分担意識のないリュウジさんの考えを発信した。

委 員) 参加者は若い人が多かったか。

事務局) 参加者の年齢は幅広く、それぞれの年代が均等に参加している。募集後すぐに定員に達した。

委 員) 内灘町に住む参加者は少ない。

事務局) 保育所や学童にチラシを配布したが、遅かったからか、その後すぐに定員になった。

事務局) 次に、令和2年2月15日（土）の13時半から開催したふらっとミニセミナーについて。

『20代・30代の共働き夫婦にむけたマネープラン講座』をテーマとし、約1時間半のセミナーを開催した。参加人数は9名で、内訳は男性5名、女性4名だった。

セミナーでは、家計の振り返りや計画をたてる上で必要な幅広い知識の解説や子育て世代にむけた情報の説明があった。男女ともに家計管理のための知識が増え、協力して家計管理や家事に参加する大切さを感じることができた。改善点は、20代・30代を主な対象としていたが、託児の案内と保育スペースの設置が不十分であったことなどである。

委員) 費用は町負担か。

事務局) (公財) いしかわ女性基金である。

委員) 90分間ずっと講義か。

事務局) 90分間講義だった。最後には、質疑応答の時間があり、終わってから個別に質問する方もいた。

委員) ライフイベント表の作成方法の説明などがあったのなら、実践の時間を設けてもよかったかもしれない。

委員) 参加者は夫婦か。

事務局) 夫婦が多かった。

委員) 夫婦で参加というのはよいと思うが、せっかく夫婦できているのなら、講義だけでなく話合う時間があってもよかったかもしれない。

委員) 託児はあったのか。また、案内はしたのか。

事務局) 託児はあったがセミナー会場と離れていたため、利用はなかった。当初託児を予定していなかったため、チラシには案内を掲載していない。

委員) 子育て世代だと泣き声も気にならないので託児は同部屋でもよい。

委員) せめて同じ階にしておくべき。

=== その後、異議等なく、承認 ===

【第2号議案 女性人材リストの作成について】

事務局) 女性人材リストの作成に関しては、一般の方の利用も考え、同意がある場合公表することも検討していたが、まず、庁内のみの利用を行っていく方向で

実施したいと考えている。

理由としては、リストには膨大な量の個人情報に記載されていることから、公表については、実施の有無をはじめ、行うとしても方法や手続きなど、時間をかけて検討していきたいと考えているからである。

このような方向で進めて差し支えないか率直なご意見をいただきたい。

委 員) 一般の方が、公民館で勉強会を行う際に、講師の選任のために利用することは、できないということか。

事務局) できない。町では出前講座を行っており、保健師や職員を派遣しているのでそちらを利用してもらいたい。

委 員) (公財) いしかわ女性基金は公開しているのか。

事務局) 公開しているが、利用者は市町など限られている。

委 員) 他の市町はどうか。

事務局) 白山市や射水市など近隣は公開していない。

委 員) 限定した形で公開してもいいのではないかとも思うが、当面はよい。

委 員) 将来的には公開する予定か。

事務局) 今後検討していく。

委 員) 公開することも念頭におきつつ、当面は公開しないことでよいか。

=== その後、異議等なく、承認 ===

【その他協議事項】

1. 文化芸術祭での啓発パネル展示について

事務局) 平成30年度までうちなだ参画グループが企画し、町の文化芸術祭(平成29年度までは総合文化祭)で啓発パネル展示を実施した。平成31年3月解散後の今年度は、DV防止に関する啓発パネルや町民意識調査結果の展示を行ったが、今後の方針についてご意見をいただきたい。

委 員) うちなだ参画グループは、10年の節目をむかえ解散にいたった。文化芸術祭(総合文化祭)では、展示するだけでなく立ち寄ってもらう工夫も行った

が、人が少なく寂しい思いもした。

委員) 今年度は見ている人が多くいたか。

事務局) 把握しきれていないが、啓発パネルと一緒に設置したパープルリボンツリーには、メッセージが全く書かれていなかった。

委員) 説明や展示だけでなく行動をしてもらおうとよいかもしれない。例えばQRコードをはっておき、スマホで見ってもらうなど。

委員) 文化芸術祭の時以外で役場にパネルを置き、来る人に見てもらおうといいかもしれない。

委員) 待っている時や列をついている時に見てもらおうとよい。

委員) まとめると、必ずしも文化芸術祭にこだわることはなく、今後は違う場を考えてもよい。

2. 男性の育児休業取得について

委員) 男性の育児休業取得率は6.16% (平成30年度雇用均等基本調査)、内灘町の男性職員は0% (平成30年度) ということであるが何か意見はあるか。

委員) 有休がまともにとれていないのに、育休は難しい。だが、冠婚葬祭の時には当たり前のように休みがあるのに、子どもの誕生で休みがないのはおかしい。当たりの雰囲気が必要。

委員) 内灘町職員がとれないのはなぜか。

委員) 男性であれば5日でも取れるので、年休と同じで人の手配もいらない。

委員) ゆくゆくは女性と同じ期間取ることができればよいが、とりあえず5日でも取れる。

委員) 一番目に取るのが難しいのだろう。例えば、「2人目が生まれたらとりましょう」というような呼びかけや、ポスターの掲示があるといいのでは。

委員) また、上司からポジティブな一言があったらよい。

閉 会